

ジャン・ミニーの12ステップ

まえがき

みのわマック（旧三ノ輪マック）は一九七八年六月、ハーフウェイ・ハウス大宮（中間施設）を母体に、東京都荒川区に設立された日本で初めての本格的なアルコール依存症者のためのハーフウェイ・ハウスです。みのわマックの大きな特徴はAAのプログラムを取り入れ、回復中のアルコール依存症者が苦しんでいるアルコール依存症者の手助けをするピア・カウンセリング（Peer-counseling）で、設立当初には関係者へのメッセージを積極的に行いました。特に山谷→上野一時保護所→塩崎荘（更生施設）→みのわマックの経路で回復した二名の仲間と、自身もアルコール依存症者で設立者であるジャン・ミニー神父によるみのわマックの説明会や、この本の主体となっている「第一回マック・ステップ・セミナー」は、大きな反響を呼びました。

マックは、その後、札幌、大阪にも開設され全国規模の活動に広がり始めました。また、一九八二年には初のナイトケア（宿泊施設）竜泉ホーム（現山谷マック）を開設したのを皮切りに、以後一年の間に五ヶ所のナイトケアが東京に誕生しました。しかし、経済的な困難などから閉鎖を余儀なくされた施設もあり、行余曲折を経て、現在はアルコール依存症者の施設「マック」が全国で十五ヶ所、薬物依存症者の施設「ダルク」が二十ヶ所、活動をしています。

この本「ジャン・ミニーの十二ステップ」は一九八四年のみのわマック設立の初期に、より多くの関係者の方にアルコール依存症という病気と、病気からの回復のプログラムを理解していただくために行われた「第一回マック・ステップ・セミナー」を中心に構成されています。その内容は、当時の録音テープを掘り起こし、みのわマックの機関誌「マックだより」に一九九三年十二月から一年半にわたり連載し、アルコール依存症者本人や関係者から大きな反響を呼びました。

出版にあたっては、加筆・修正を加え、さらに第三章で付録として、十一年前に田中神父の翻訳により自費出版した「ハーフウェイ・ハウスにおけるアルコールリズム・プログラム—その理念と方法」を掲載しました。

セミナーの司会者を務めた設立者のジャン・ミニー神父のわかりやすい説明と、ありのままに語っている回復者のプロセスはきっと皆さんのお役に立つことと思います。また、当時ジャン・ミニー神父と回復を共にしていた多くの仲間のお話しも価値あるものです。

最後にこの本の出版にご協力して下さった、ジャン・ミニー神父、故・田中道雄神父、セミナーでお話しをして下さった多くの仲間たち、そして、みのわマックの活動を今でも理解し、当時からの十年を振り返って、貴重な寄稿をして下さった、村田由夫さん、宮下忠子さん、三船英男さんを始め、関係者の方々にこの場を借りまして、謝辞を述べさせていただきます。